がん対策審議会　緩和ケア推進部会	資料1
令和4年1月26日(水)	

第3期千葉県がん対策推進計画の中間評価について（緩和ケア）

（平成30年度～令和5年度）

千葉県健康福祉部健康づくり支援課

第３期 千葉県がん対策推進計画の概要

基本理念：　ちからを合わせてがんにうち克つちば

全体目標

1　がんによる死亡率を減らしていきます
（75 歳未満のがんによる年齢調整死亡率の 12%減少）

2　がん患者とその家族が、がんと向き合いながら、生活の質を維持向上させ、安心して暮らせる社会を目指します

施策の体系

予防・早期発見

予　防
- たばこ対策の充実
- 生活習慣等の改善
- がんの予防の知識の普及啓発

早期発見
- がん検診の受診率の向上
- がん検診の精度管理等

がんとの共生

緩和ケアの推進
- がんと診断された時からの緩和ケアの推進
- 地域緩和ケアの推進

相談・情報提供・患者の生活支援
- 相談支援の充実
- 情報提供の充実
- 就労支援の充実

がん教育
- がん教育の推進

子ども・AYA世代に応じたがん対策
- 子ども・ＡＹＡ世代に応じたがん対策の推進
- 情報提供の充実

医　療

がん医療の充実
- がん診療連携拠点病院等及び千葉県がん診療連携協力病院を中心としたがん医療提供体制の推進
- 地域医療連携体制の構築
- がん医療を担う人材育成
- がんゲノム医療の提供体制づくりの検討
- ライフステージに応じたがん診療
- 希少がん、難治性がんの診療の質の向上、情報の提供
- 口腔ケアに関する医科歯科連携

研　究

がん研究
- 基礎研究・橋渡し研究の推進
- 臨床研究（臨床試験・治験等）の促進
- 将来のがん予防のための疫学研究の推進

がん登録
- 全国がん登録の運用、情報の活用
- 院内がん登録の精度向上、分析と公表

全体目標

【全体目標1】

がんによる死亡率を減らしていきます

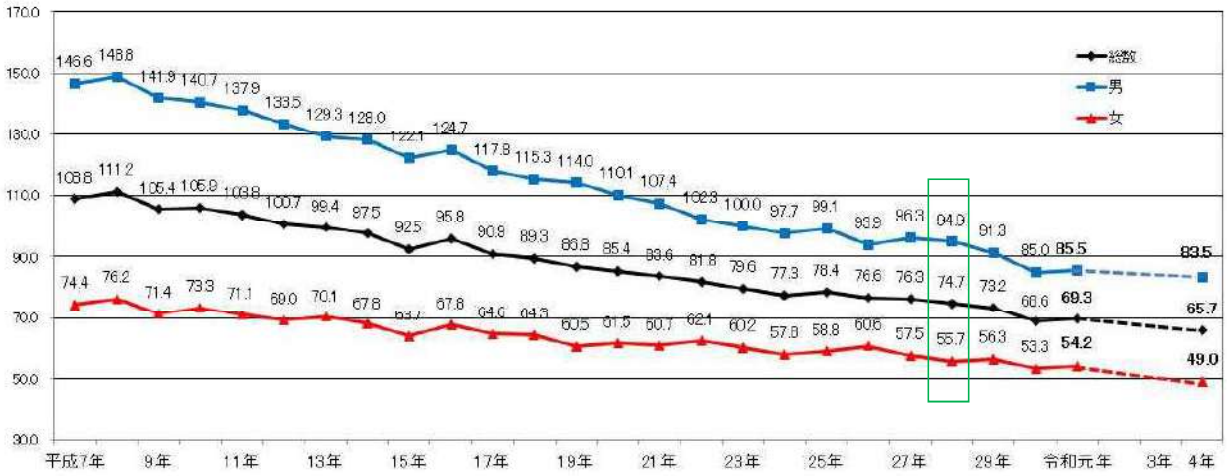
＜数値目標＞平成28年の数値と比較して、今後6年間の目標数値として、
75歳未満のがんによる年齢調整死亡率の12%減少

【全体目標2】

がん患者とその家族が、がんと向き合いながら、生活の質を維持向上させ、安心して暮らせる社会を目指します

【アウトカム】がんによる死亡率の減少

■75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）



出典：都道府県別死亡データ（国立がん研究センターがん対策情報センター）

75歳未満の年齢調整死亡率は、令和元年とその10年前である平成21年を比較すると、男性20．4%減、女性10．7%減、全体で17．1%減となっている。

緩和ケアの分野における施策の方向性

（1）がんと診断された時からの緩和ケアの推進

①緩和ケア研修の充実

県は、緩和ケア研修について「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」に準拠した内容や形式の変更を検討し、拠点病院等は、それを踏まえ緩和ケア研修会を開催します。	県
拠点病院等は、自施設のがん等の診療に携わる全ての医師・歯科医師が緩和ケア研修の受講を修了することを目指すとともに、地域で連携している医療機関の医師・歯科医師の受講状況の把握や受講促進を通じて、基本的な緩和ケアを実践できる人材の育成に取り組みます。また、看護師、薬剤師等の医療従事者の研修も引き続き推進していきます。	拠点病院
県は、拠点病院等と連携し、がん等の診療に携わる医師等の緩和ケア研修会への参加機会の確保に努めます。また、広報等により、関係機関やがん等の診療に携わる医師・歯科医師等への研修会の周知を図ります。	県 拠点病院

②相談や支援を受けられる体制の強化

拠点病院等を中心としたがん診療に携わる医療機関は、院内の全ての医療従事者間の連携を診断時から確保するとともに、医療者と患者・家族のコミュニケーションの充実に努め、患者・家族が、身体的・精神心理的・社会的苦痛等に対する相談や支援を受けられる体制の強化を目指します。	医療機関
拠点病院等は、苦痛のスクリーニングにより苦痛を定期的に確認するとともに、苦痛を抱えた患者を緩和ケアチーム等の症状緩和の専門家につなぐ体制づくりに努め、苦痛への迅速な対処を目指します。	拠点病院

緩和ケアの分野における施策の方向性

（1）がんと診断された時からの緩和ケアの推進

③拠点病院等における緩和ケア提供体制の充実

拠点病院等は、引き続き、がん診療に緩和ケアを組み入れた体制の整備・充実に努め、緩和ケア外来の開設日の増加など、量的な拡充を行い、緩和ケアが早期に提供できる機会の拡大を図るとともに、緩和ケアチームの施設間格差を縮小し、質の向上を目指します。	拠点病院
「緩和ケアセンター」を持つ拠点病院等は、院内の専門的な緩和ケア部門のコーディネート機能や、緩和ケアの質を評価し改善する機能の強化に努め、緩和ケア提供体制の充実に取り組みます。また、「緩和ケアセンター」のない拠点病院等は、既存の管理部門を活用し、その機能を担う体制を整備するほか、院内体制を整備し、緩和ケアの質の評価・改善に努めます。	拠点病院
緩和医療専門部会は、拠点病院等における緩和ケア提供体制を充実させるため、各機関の取組や課題について、情報共有する機会を設け、「緩和ケアセンター」や緩和ケアチーム、緩和ケア外来等の質の向上を推進します。	診療連携協議会
県は緩和医療専門部会と連携し、拠点病院等以外の医療機関においても緩和ケアを推進するため、調査を検討し、実態把握に取り組みます。	県 診療連携協議会

緩和ケアの分野における施策の方向性

（２）地域緩和ケアの推進

①地域の状況に応じた地域緩和ケアの提供体制の構築

県は、がん患者や家族が住み慣れた地域において、自宅や施設など希望する場所で、患者の意向に沿った緩和ケアを受けられるよう、地域の実情を踏まえた在宅緩和ケアの効果的な推進方法を検討します。	県
県及び拠点病院等は、在宅緩和ケアを提供している医療・介護施設の状況など、地域ごとの実態把握に努めるとともに、病院や在宅療養支援診療所、かかりつけ医、薬局、訪問看護事業所など　地域における医療と介護の連携を促進し、がん患者が希望する場所で療養生活を送れるよう支援します。	県 拠点病院

②地域緩和ケアに携わる医療・介護従事者の人材育成と連携強化

県は、地域緩和ケア支援事業を引き続き実施し、在宅緩和ケアの普及と人材育成に努めるとともに、在宅緩和ケアへの多職種の参画と職種間の相互理解を促進します。	県
拠点病院等は、地域特性に配慮した研修会や地域カンファレンス等の開催を検討し、病院や在宅緩和ケア充実診療所、在宅療養支援診療所、訪問看護事業所、地域包括支援センター等を中心とした医療・介護の顔の見えるネットワークづくりを支援します。	拠点病院
県は、高齢者・介護施設等のがん患者の受け入れを支援するため、「介護スタッフのための緩和ケアマニュアル」を活用した在宅緩和ケアの普及に取り組みます。	県

緩和ケアの分野における施策の方向性

（２）地域緩和ケアの推進

③在宅緩和ケアに関する情報提供、相談支援の充実

県は、地域の在宅緩和ケアに関する情報を収集し、拠点病院等、市町村、在宅医療関係者、介護保険関係者等と連携しながら、住み慣れた地域において緩和ケアの提供が受けられる医療・介護施設に関する情報提供、相談支援の充実に努めます。	県
県及び拠点病院等は、在宅緩和ケアに関して県民の理解を深めるため、患者会、在宅医療・介護を担う関係団体等と協力し、普及啓発を図ります。	県 拠点病院

千葉県がん対策推進計画の取組 （がんとの共生　令和3年9月末時点）

施策の体系			施策の方向	実施主体	取組状況	課題及び今後の取組	目標に対する進捗状況				
大項目	中項目	小項目					項目	計画改定時点	目標 ＜令和５年度＞	現状値	達成状況（%）
3 がんとの共生	(1) 緩和ケアの推進	①がんと診断された時からの緩和ケアの推進	緩和ケア研修の充実				がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修を修了した医師数	がん診療連携拠点病院等の医師の研修修了者数 2,456名 それ以外の医療機関の医師の研修修了者数 874名 計 3,330名 （平成29 年3 月末までの累計）	増加する	3,779名 （令和3年9月までの累計） 1279名 （同上）	概ね順調
			県は、緩和ケア研修について「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」に準拠した内容や形式の変更を検討し、拠点病院等は、それを踏まえ緩和ケア研修会を開催します。	県 拠点病院等	県は、緩和ケア研修会について国の動向を確認し、拠点病院等に情報を周知している。	新型コロナウイルスの影響で、緩和ケア研修会の中止や受講者定員の減少・限定が見られる。 ロールプレイングをwebで行うことを含めた集合研修の開催方法について事務連絡があり、今後も国の動きを注視しながら、研修会の参加機会の確保が必要である。					
			県は、拠点病院等と連携し、がん等の診療に携わる医師等の緩和ケア研修会への参加機会の確保に努めます。また、広報等により、関係機関やがん等の診療に携わる医師・歯科医師等への研修会の周知を図ります。	県 拠点病院等	県では、千葉県ホームページの活用や、社会資源調査時に緩和ケア研修会のチラシを同封し、広く周知を図っている。	新型コロナウイルスの影響により、令和２年２月頃から研修会開催病院数の減少や募集人員の制限等があり、講者の参加希望はあるものの、受講者数の増加が鈍化している。引き続き千葉県ホームページの活用や社会資源調査時に緩和ケア研修会のチラシを同封し、広く周知を図っていく。	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修を修了した医療従事者数	1,272名 （平成29 年3 月末までの累計）	増加する	1,690名 （令和3年9月までの累計）	概ね順調
			拠点病院等における緩和ケア提供体制の充実								
			県は緩和医療専門部会と連携し、拠点病院等以外の医療機関においても緩和ケアを推進するため、調査を検討し、実態把握に取り組みます。	県 診療連携協議会	県は、「在宅緩和ケアに関する社会資源調査」を毎年実施し、医療機関における緩和ケア提供体制について調査を実施している。	引き続き、調査行い緩和ケアの提供体制についての実態把握に取り組む。	緩和ケアチームへの年間依頼件数	4,371件 （平成28 年度）	増加する	5,545件 （令和元年度）	概ね順調
		②地域緩和ケアの推進	地域の状況に応じた地域緩和ケアの提供体制の構築				住まいの場での死亡割合	14.4% （平成27 年）	増加する	16.9% （令和元年） 22.4% （令和2年）	概ね順調
			県は、がん患者や家族が住み慣れた地域において、自宅や施設など希望する場所で、患者の意向に沿った緩和ケアを受けられるよう、地域の実情を踏まえた在宅緩和ケアの効果的な推進方法を検討します。	県	県は、地域における在宅緩和ケア提供体制を把握するため「在宅緩和ケアに関する社会資源調査」を毎年実施し、がん患者や家族が地域の緩和ケア提供体制を確認できるよう「ちばがんなび」で結果の公表を行っている。	「千葉県のがん対策に関するアンケート」では、約半数が自宅で最期を迎えたいと回答しているが、人口動態統計では住まいの場での死亡率はその数値を下回っているので、在宅緩和ケア提供体制の構築をより行う必要がある。					
			県及び拠点病院等は、在宅緩和ケアを提供している医療・介護施設の状況など、地域ごとの実態把握に努めるとともに、病院や在宅療養支援診療所、かかりつけ医、薬局、訪問看護事業所など地域における医療と介護の連携を促進し、がん患者が希望する場所で療養生活を送れるよう支援します。	県 拠点病院等	社会資源調査時に緩和ケア研修会のチラシを同封し、緩和ケア研修会の紹介や緩和ケア研修会を修了することによる診療報酬基準にいて周知を図っている。 また、社会資源調査票に「ちばがんなび」について記載しており、調査対象施設に周知を図っている。	引き続き、がん患者が希望する場所で療養生活を送れるよう「ちばがんなび」や「千葉県がんサポートブック」を通して情報提供を行っていく。					
			地域緩和ケアに携わる医療・介護従事者の人材育成と連携強化				がん患者の看取りをする在宅療養支援診療所及び一般診療所数	155か所 （平成28 年度）	増加する	170か所 （令和2年度）	概ね順調
			県は、地域緩和ケア支援事業を引き続き実施し、在宅緩和ケアの普及と人材育成に努めるとともに、在宅緩和ケアへの多職種の参画と職種間の相互理解を促進します。	県	県は、在宅緩和ケアの普及と人材育成のため、地域緩和ケア支援事業を千葉県がんセンターに委託して実施している。	新型コロナウイルスの影響で、在宅緩和ケアに関わる方の意見交換会が実施できていないので、千葉県がんセンターと実施方法について検討が必要となる。					
			県は、高齢者・介護施設等のがん患者の受け入れを支援するため、「介護スタッフのための緩和ケアマニュアル」を活用した在宅緩和ケアの普及に取り組みます。	県	県は、「介護スタッフのための緩和ケアマニュアル」の活用支援事業を実施し、高齢者施設管理者向け研修会、介護支援専門員向け研修会、希望のあった施設に講師を派遣している。	施設への講師派遣については新型コロナウイルス感染症のため、令和２年度から実施できておらず、実施方法について検討が必要である。					
			在宅緩和ケアに関する情報提供、相談支援の充実								
			県は、地域の在宅緩和ケアに関する情報を収集し、拠点病院等、市町村、在宅医療関係者、介護保険関係者等と連携しながら、住み慣れた地域において緩和ケアの提供が受けられる医療・介護施設に関する情報提供、相談支援の充実に努めます。	県	県は、地域における在宅緩和ケア提供体制を把握するため「在宅緩和ケアに関する社会資源調査」を毎年実施し、がん患者や家族が地域の緩和ケア提供体制を確認できるよう「ちばがんなび」で結果の公表を行っている。	「千葉県のがん対策に関するアンケート」では、約半数が自宅で最期を迎えたいと回答しているが、人口動態統計では住まいの場での死亡率はその数値を下回っている。 引き続き社会資源調査を実施し、在宅緩和ケアに関する情報を収集し、「ちばがんなび」で情報提供を実施していく。					
			県及び拠点病院等は、在宅緩和ケアに関して県民の理解を深めるため、患者会、在宅医療・介護を担う関係団体等と協力し、普及啓発を図ります。	県 拠点病院等	県は、在宅緩和ケアに関する内容を「ちばがんなび」で情報提携供している。	「ちばがんなび」の情報更新や見やすいようレイアウトの改善を行っていく。					

がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

【緩和ケア推進】

個別目標	3-1 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修を修了した医師数
用いる調査	「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」に基づき実施している研修修了者数（医師・歯科医師）

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
がん診療連携拠点病院等の医師の研修修了者数 2,456名 それ以外の医療機関の医師の研修修了者数 874名 （平成29年3月末まで）	増加する	令和5年度 （平成35年度）	3,779名 1,279名 （令和3年9月末まで）	概ね順調

取　組　状　況
県は、緩和ケア研修会について国の動向を確認し、拠点病院等に情報を周知している。 県では、千葉県ホームページの活用や、社会資源調査時に緩和ケア研修会のチラシを同封し、広く周知を図っている。

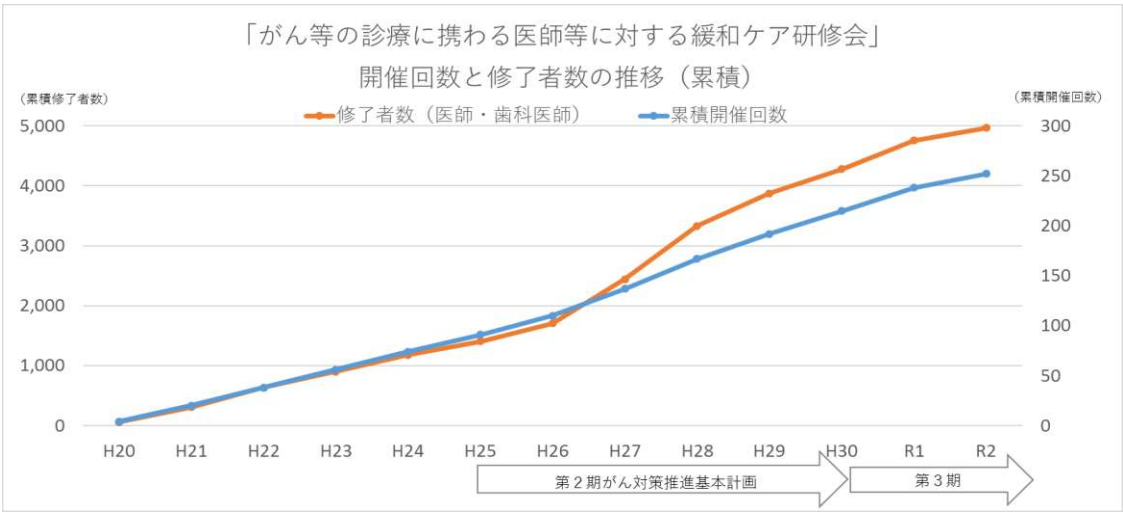
評価	コメント
A	緩和ケア研修会の受講者数は年々増加しており、拠点病院等が受講勧奨する地域の医療機関における受講状況が明確になった。

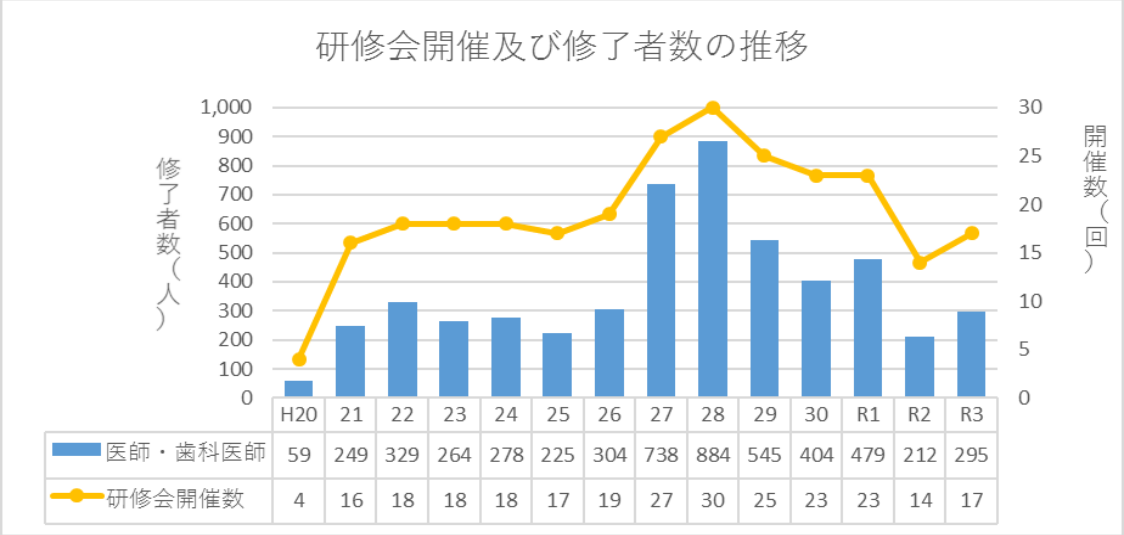
目標達成等に必要な課題
新型コロナウイルスの影響により、令和２年２月頃から研修会開催病院数の減少や募集人員の制限等があり、受講者の参加希望はあるものの、受講者数の増加が鈍化している。 今後、国の動きを注視しながら、安心安全な受講環境下での、研修会の参加機会の確保が必要である。

課題を踏まえた具体的な取組
引き続き、受講可能な緩和ケア研修会を千葉県ホームページ上に掲載する。 社会資源調査実施時に緩和ケア研修会についてのチラシを同封することを継続し、在宅で診療を行う医師への受講を促す。

がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

調査結果等

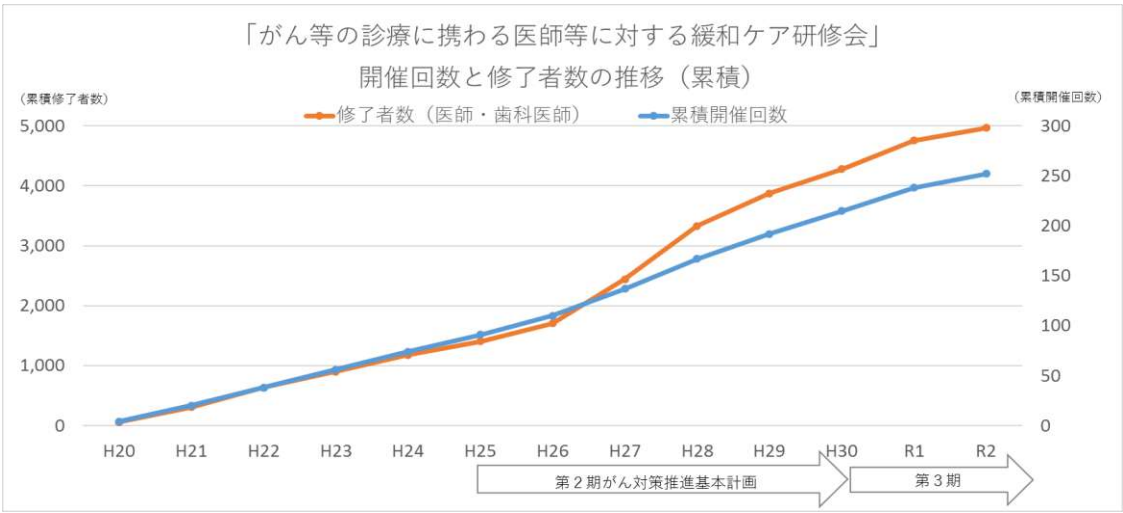


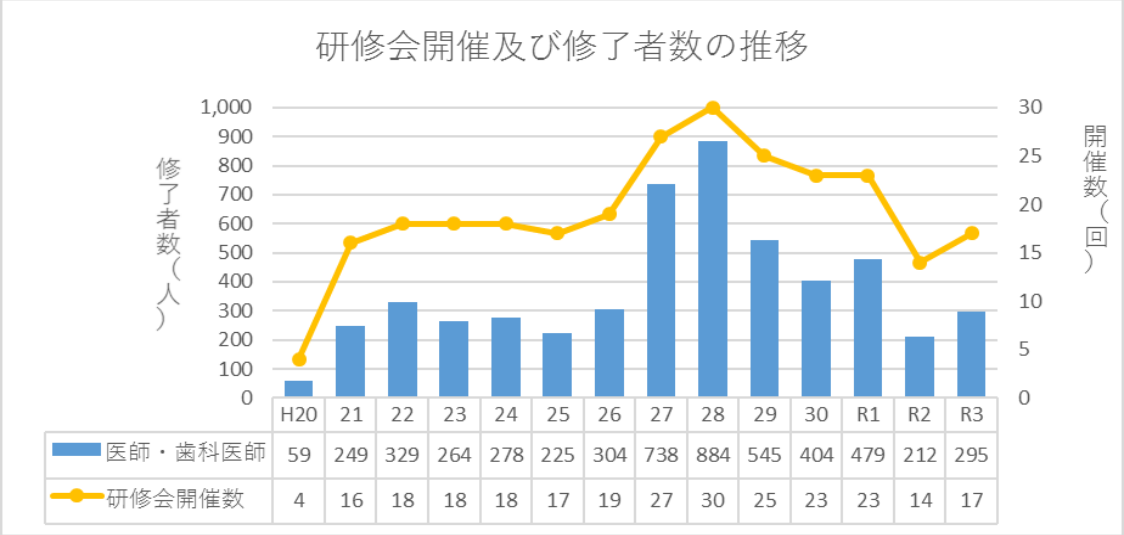


	H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3
医師・歯科医師	59	249	329	264	278	225	304	738	884	545	404	479	212	295
研修会開催数	4	16	18	18	18	17	19	27	30	25	23	23	14	17

がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

調査結果等





	H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3
医師・歯科医師	59	249	329	264	278	225	304	738	884	545	404	479	212	295
研修会開催数	4	16	18	18	18	17	19	27	30	25	23	23	14	17

がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

【緩和ケア推進】

個別目標	3-2 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修を修了した医療従事者数
用いる調査	「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」に基づき実施している研修修了者数（医師・歯科医師以外）

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
1,272名 （平成29年3月末まで）	増加する	令和5年度 （平成35年度）	1,690名 （令和3年9月末まで）	概ね順調

取　組　状　況
県は、緩和ケア研修会について国の動向を確認し、拠点病院等に情報を周知している。 県では、千葉県ホームページの活用や、社会資源調査時に緩和ケア研修会のチラシを同封し、広く周知を図っている。

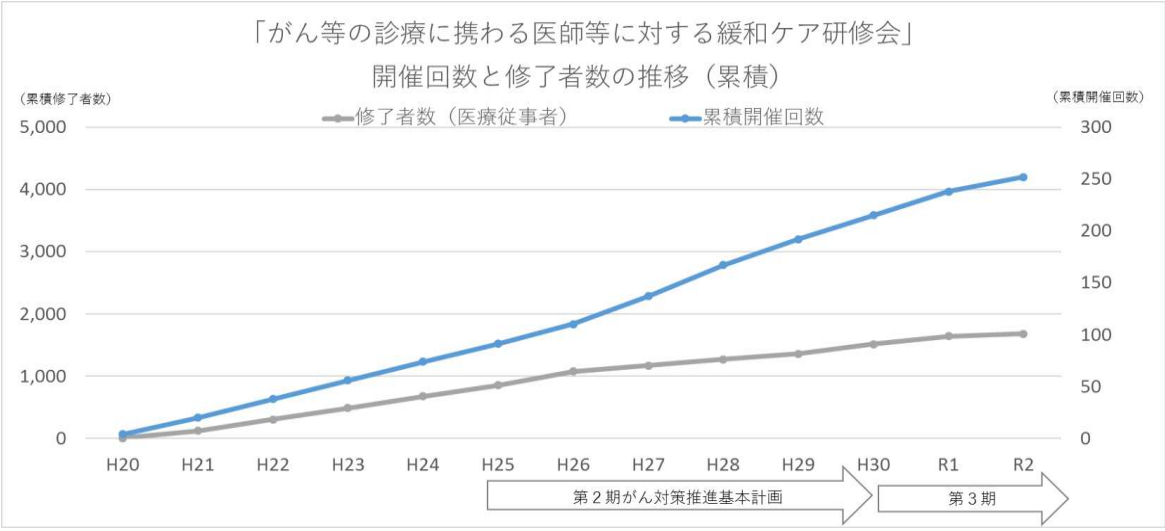
評価	コメント
A	緩和ケア研修会の受講者は増加している。

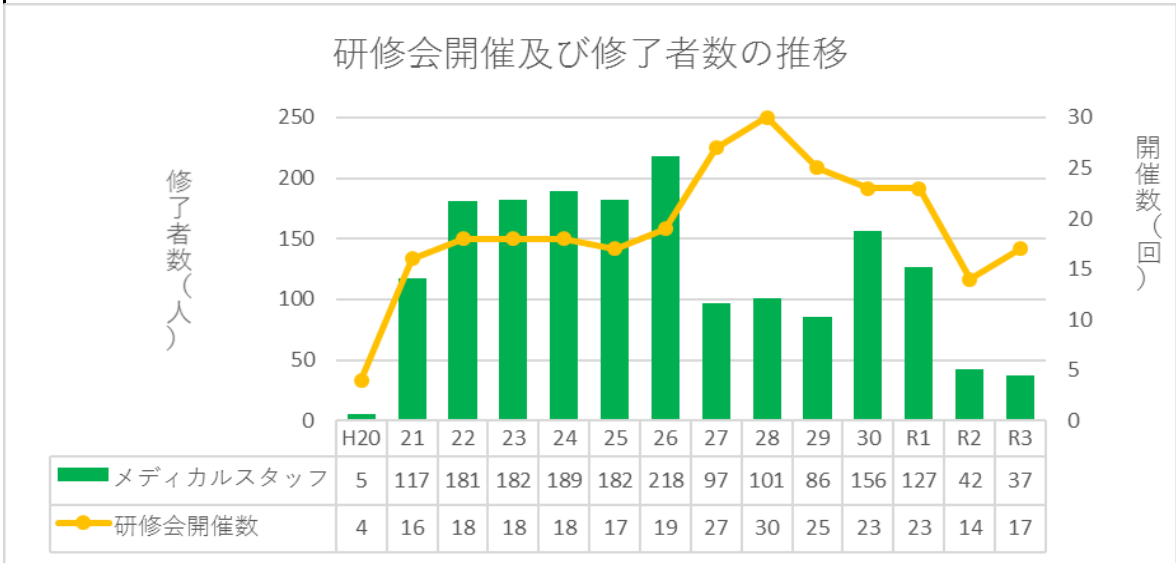
目標達成等に必要な課題
在宅療養新診療所や訪問看護事業所など拠点病院等で勤務していない緩和ケアに従事する医療従事者に緩和ケア研修会の周知を引き続き行っていく必要がある。 平成２６年度以降増加は緩やかになっている。

課題を踏まえた具体的な取組
社会資源調査時に同封する緩和ケア研修会のチラシの配布を継続し、拠点病院等に勤務していない在宅緩和ケアに係る医療従事者の受講を促す。

がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

調査結果等





	H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3
メディカルスタッフ	5	117	181	182	189	182	218	97	101	86	156	127	42	37
研修会開催数	4	16	18	18	18	17	19	27	30	25	23	23	14	17

がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

【緩和ケア推進】

個別目標	3-3 緩和ケアチームへの年間依頼件数
用いる調査	緩和ケアの提供体制に関する調査（千葉県がん診療連携協議会緩和医療専門部会）【毎年実施】

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
4,371件 （平成28年度）	増加する	令和5年度 （平成35年度）	5,545件 （令和元年度）	概ね順調

取　組　状　況
県は、地域の連携医療機関における医師等の緩和ケア研修会の受講を促進するため、令和元年度及び２年度の社会資源調査において、在宅療養支援診療所等の緩和ケア研修会の受講状況を把握し、令和元年度千葉県がん診療連携協議会第２回緩和医療専門部会で調査結果を情報共有した。 拠点病院は、全がん患者へのスクリーニングを行うことにより、緩和ケアが必要な患者の早期発見に努めている。

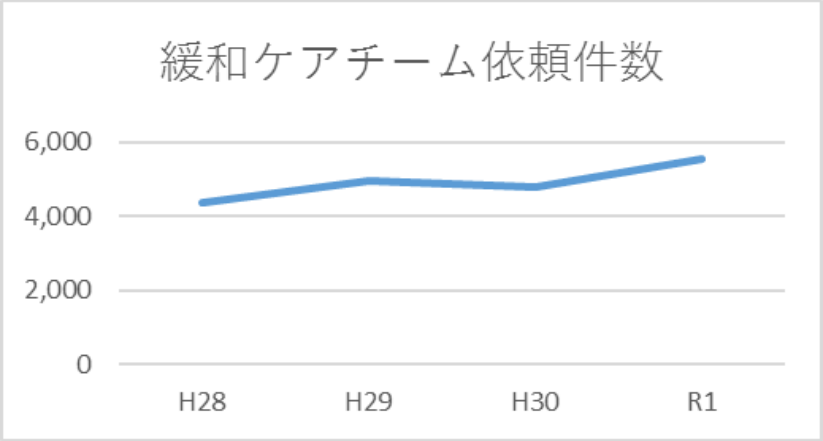
評価	コメント
A	緩和ケアチームへの年間依頼件数は増加している。

目標達成等に必要な課題
新型コロナウイルスの影響により、緩和ケアチームの依頼件数の減少や活動に制限が見られる。

課題を踏まえた具体的な取組
新型コロナウイルスの影響下でも、必要な患者に緩和ケアが提供できるよう模索していく必要がある。

がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

調査結果等



年度	
H28	4,371
H29	4,974
H30	4,792
R1	5,545

がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

【緩和ケア推進】

個別目標	3-4 住まいの場での死亡割合
用いる調査	千葉県衛生統計年報（人口動態調査）【毎年実施】

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
14.4% （平成27年）	増加する	令和5年度 （平成35年度）	16.9% （令和元年） 22.4% （令和2年）	概ね順調

取　組　状　況
県は、地域における在宅緩和ケア提供体制を把握するため「在宅緩和ケアに関する社会資源調査」を毎年実施し、がん患者や家族が地域の緩和ケア提供体制を確認できるよう「ちばがんなび」で結果の公表を行っている。

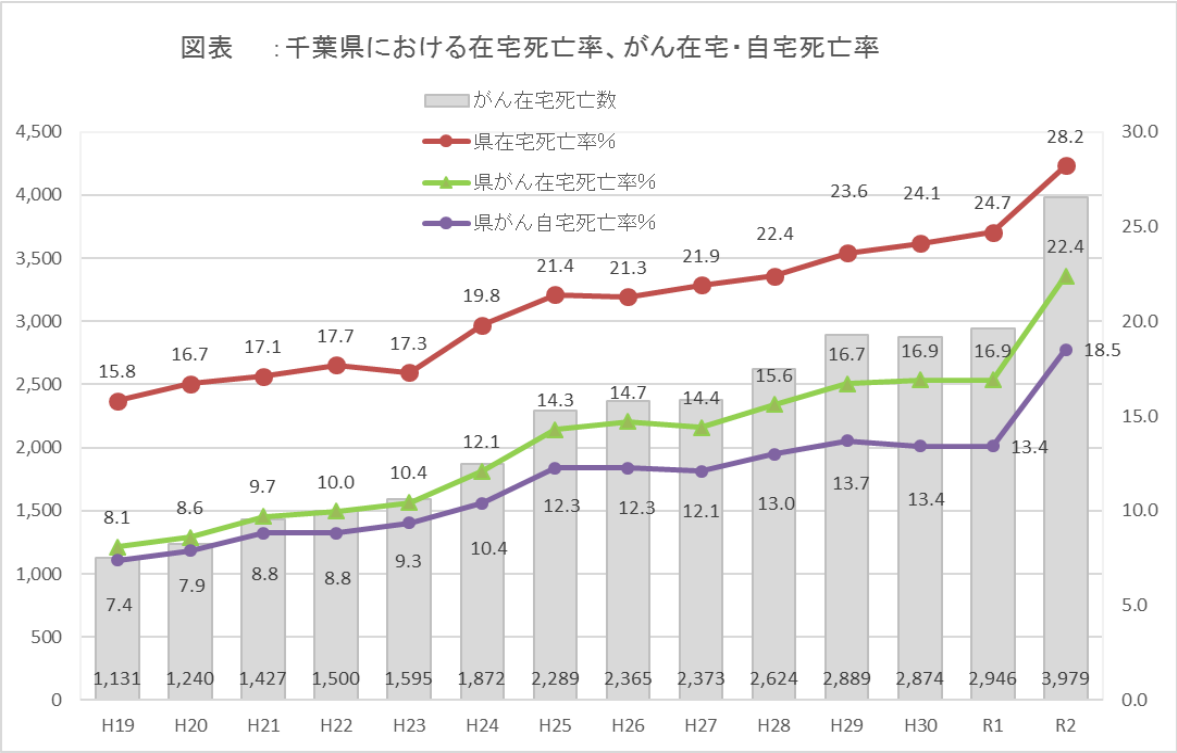
評価	コメント
A	千葉県内の在宅死亡率は増加している

目標達成等に必要な課題
「千葉県のがん対策に関するアンケート」では、約半数が自宅で最期を迎えたいと回答しているが、人口動態統計では住まいの場での死亡率はその数値を下回っているので、在宅緩和ケア提供体制の構築をより行う必要がある。

課題を踏まえた具体的な取組
在宅死亡率は増加しているが、人口動態統計での在宅死亡率と「千葉県のがん対策に関するアンケート」の調査結果にはまだ乖離があるので引き続き社会資源調査を行い、在宅緩和ケアができる施設の情報を更新し、がん患者や家族が地域の緩和ケア提供体制を確認できるようにしていく。

がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

調査結果等



がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

【緩和ケア推進】

個別目標	3-5 がん患者の看取りをする在宅療養支援診療所及び一般診療所数
用いる調査	在宅緩和ケアに関する社会資源調査（千葉県）【毎年実施】

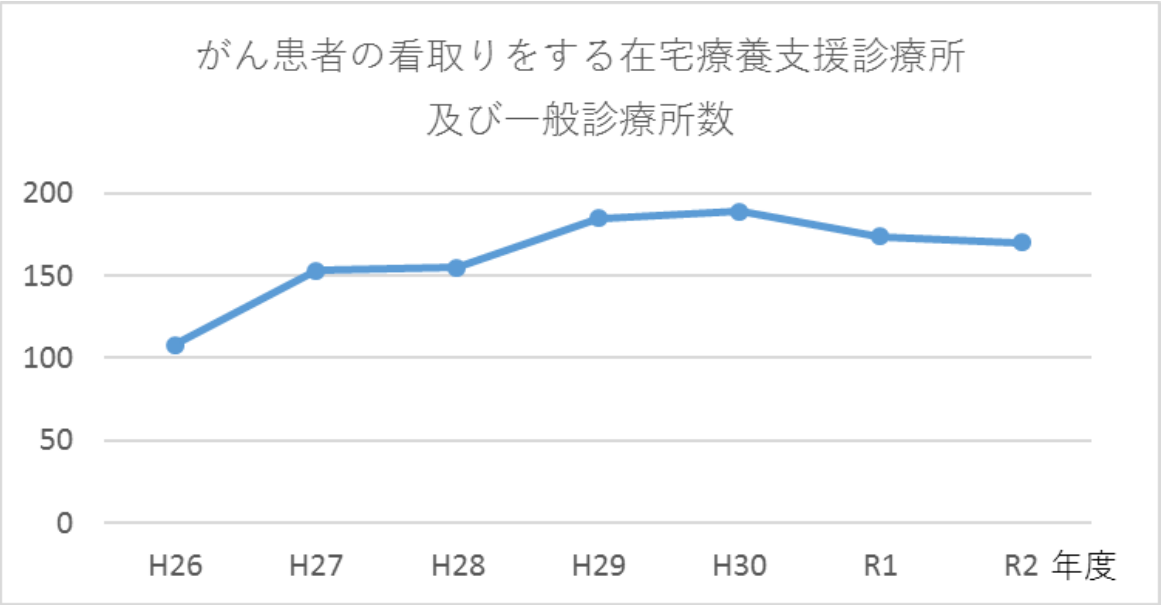
計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
155か所 （平成28年度）	増加する	令和5年度 （平成35年度）	170か所 （令和2年度）	概ね順調

取　組　状　況
県は、在宅緩和ケアの普及と人材育成のため、地域緩和ケア支援事業を千葉県がんセンターに委託して実施している。

評価	コメント
A	がん患者の看取りをする在宅療養支援診療所及び一般診療所数は増加している。

目標達成等に必要な課題
新型コロナウイルス感染症のため、千葉県がんセンターに委託している在宅緩和ケアの普及に向けた研修会はWeb研修とすることで実施できているが、例年研修会後に行っていた意見交換会は実施できていない。 がん患者の看取りをする在宅療養支援診療所及び一般診療所数はここ数年ほぼ横ばいとなっている。

課題を踏まえた具体的な取組
社会資源調査実施時に緩和ケア研修会を受講することによる診療報酬加算を記載したチラシを同封することにより、在宅緩和ケア及び在宅での看取りを促すことを継続する。 在宅緩和ケアに関わる方の意見交換会が実施できていないので、千葉県がんセンターと実施方法について検討が必要となる。

がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

調査結果等